

## 小石原川ダム建設とスイゼンジノリとの関係についての平成21年2月26日付け西日本新聞朝刊報道に関する小石原川ダム建設所長コメント

平成21年2月26日

独立行政法人水資源機構 小石原川ダム建設所

平成21年2月26日付けの西日本新聞朝刊の報道に関して、小石原川ダム建設所としての見解は以下のとおりです。

小石原川ダムは、洪水調節、水道用水の供給とともに、河川環境の改善に寄与するため、小石原川、佐田川及び筑後川の流水の正常な機能の維持と増進を図ることを目的としています。

小石原川ダムにおいては、平成14年から平成16年にかけて環境影響評価法に基づく環境影響評価を実施しました。

環境影響評価の中で、小石原川・佐田川におけるダム下流の河川環境に関しては影響は小さいと評価していますが、一層の環境保全の見地から「既設江川ダム及び寺内ダムと相まった適切な運用など下流の河川環境に配慮した操作方法について更に検討を進める」こととしています。

これを受けて環境影響評価の実施以降、ダム下流の河川環境に関する調査を行うとともに、佐田川の水循環について朝倉市とともに勉強会を実施してきました。

水資源機構では、今後とも地下水の動きを含めダム下流の河川環境の改善に向けた調査・検討を実施してまいります。

なお、この調査・検討にあたっては、今般報道された昨年6月の現地試験の結果も含めて検討していきたいと考えています。

また、調査・検討の実施にあたって学識経験者の指導・助言をいただくために、検討会の設置を準備中です。